



校報 「海士」第四一八号
 発行 令和二年十二月二四日
 編集 海士町立海士小学校

二学期の終了にあたって

校長 平田 昭

今年も残すところ一週間あまりとなり
 ました。授業時数を確保するため八月二四
 日の残暑厳しい中でスタートした二学期で
 したが、何とか八十五日間の二学期を無事
 に終えることができました。今年は、三月
 のコロナ感染症第一波から始まり、夏の第
 二波、そして現在の第三波と感染拡大が心
 配されましたが、隠岐にはまだ感染が確認
 されておらず、どうにか学校もここまでや
 つてきました。また、休校期間の子ども達
 の学習の遅れも二学期まで回復すること
 ができましたので、今後長い休校にならな
 いことを祈るばかりです。

しかし、二学期も子ども達には多くのこ
 とを我慢してもらいました。二学期の目標
 として『今できることを精一杯やろう』と
 話しましたが、いろいろな大会や行事が中
 止になり悲しい思いもさせました。そんな
 中で少しでも子ども達のためにできること
 をと考え、工夫改善をして取り組みました。
 島前陸上大会の代わりに小体連陸上記録
 会、区民体育大会の代わりに校内運動会、
 参観者を制限した学芸会、春と秋を入れ替
 えて行った遠足等、行事の規模が縮小した
 り、活動時間が短くなったりしましたが、
 今できることを子ども達も教職員もみんな
 で力を合わせ、精一杯取り組むことができ
 ました。例年のように十分ではなかったか

もしれませんが、やるだけやったという思
 いは残ったと思います。きつとその思いや
 気持ちが始めの三学期に生きてくると信
 じています。

さて、いよいよ明日から子どもたちが楽
 しみにしている冬休みです。今年も十四日
 間の休みですが、年末年始を家族で楽しく
 過ごし、有意義な休みになるようお願いい
 たします。まだまだコロナ感染症が拡大し
 ていますので、旅行等される方は十分注意
 され、体調管理をお願いいたします。また、
 先日も教委委員会からの文書でお知らせし
 ましたように、何かありましたら学校まで
 連絡をよろしくお願いいたします。

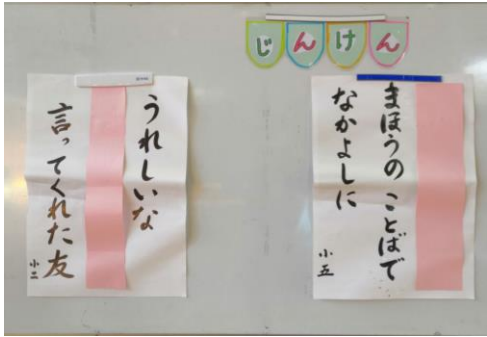
最後になりましたが、今年一年多くの皆
 様方にお世話になりました。本来にありが
 とうございました。来年も引き続きご支援
 ご協力をよろしくお願いいたします。
 来年が皆様にとつてもよい年になりますよ
 うお祈り申し上げます。



人権週間の取組

一月二日の全校朝会は「人権」につい
 て考えました。「人権」とは人が誰でも生
 まれながら持っている、人種や民族、性

別を超えて、誰にでも認められる基本的な
 権利であり、私たちが幸せに生きるための
 ものです。今回の全校朝礼では、全国の小
 学生から選ばれた二つの人権標語をもとに
 縦割り班でどんな言葉が入るのか考えまし
 た。



毎月テーマを決めて取り組んでいる生
 活目標も二月のテーマは「ともだち」で
 す。各学年で「ともだち」に関する課題か
 ら目標を設定し、目標達成に向けた具体的

な取り組みを行っています。

毎朝歌っている「今月の歌」でも「人権」
 を意識した歌を選曲しています。今年度の
 二月の歌は「すてきなともだち」です。

すてきなともだち

1. ひとみんな だれでも
 ひとりでは生きていけないから
 いつも すてきなともだちと
 こををつなぐのさ
 かなしいときも なかまがいれば
 つらくはない
 くるしいときも なかまがいれば
 つらくはない

2. ぼくもきみも ときには
 くらやみにおちて とまどうから
 いつも すてきなともだちと
 ほほえみ かかわるのさ
 あいとなかま それさえあれば
 つらくはない
 あいとなかま それさえあれば
 つらくはない

今年度も児童一人ひとりが人権について
 考え、人権標語を作成し、校内に掲示して
 います。



花壇の整備

毎年、卒業式をきれいな花で飾るために
 ビオラとサイネリアを育てています。例年
 この時期には児童一人ひとりが、一人一鉢
 運動として育った花の苗を鉢に植え替えて
 大切に育てていきます。今年度も花いっぱ
 いに囲まれた式場で卒業式を迎えられるよ
 う真心を込めて育てていきます。



一月二五日には、たくさんの方の民生委員
 さんにお越しいただき、一緒にチューリッ
 プの球根とパンジーの苗植えを行いました。
 チューリッブの球根は、五月に民生委
 員さんと花壇整備をした際にぬいた球根を
 保管していたも
 のです。今年の
 春にはきれいに
 咲いたチューリ
 ップの球根なの
 で、来年の春に
 もまた色とりど
 りのチューリッ
 プが咲き誇り、
 子ども達の登校
 を迎えてくれる
 ことを楽しみに
 しています。



体力向上に向けて

昨年度の反省や体力テストの結果を受けて、今年度より本校の体力向上に向けた取組を見直しました。マッスルタイムの時間には、これまで大事にしてきたマッスルマラソンは残しつつ、「鉄棒」「リレー」「ボール当て」の三つを新たな種目として取り入れて行っています。火・水・木曜日のマッスルタイムは縦割り班ごとに三つの新種目をローテーションで行い、班ごとの記録の更新をねらいます。金曜日はマッスルマラソンを校庭で行い、自己の記録更新を目指しています。これらの取り組みを行ったことで、今年度は休憩時間になると中庭にある鉄棒に集まり、逆上がりや後方支持回転、前方支持回転の練習に励む児童が増え、日常の遊びの中にも体力の向上となる遊びが定着しています。ここ最近では、天候が悪いのと二月に予定しているなわとび大会に向けて体育等で練習も始まったため、なわとびの練習を外で行う姿も見られます。なわとびカードも昨年度から変更点を加えたことさらに子供たちのやる気もアップしているようです。



ごとばんさんの子どもかるた

後鳥羽上皇が海士で詠んだ和歌の歌集「遠島百首(平成五年初版)」をもとにした海士町独自の子どもかるた(六〇首)が昨年度完成しました。海士小学校では五・六年生を中心にこの子どもかるたに親しんでいます。先で行われた児童朝会では、五・六年生が下級生に子どもかるたを紹介し、全校で楽しむ機会が設けられました。歴史溢れる島の文化遺産に触れ、郷土への愛着につながる一つにきっかけになればと願っています。



総合的な学習の時間

ふるさと学習を軸にした総合的な学習の時間も今年度は見直しを図ってスタートしています。三・四年生の二期のテーマは「福祉学習」でした。『福来の里 笑顔いっぱい大作戦!』と題し、今年度より福来の里の皆さんに協力いただき、交流活動を三回実施しました。コロナ対応もあり福来の里の職員さんとは何度も打合せを行って実施に至っています。先日は三回の交流学習のまとめとして、学習の発表会を設定し、福来の里の職員さんにも参加していただきました。



三学期には、海士小校区を回り、自分たちが住んでいる地区の良さ(二学期で四地区)に触れる活動を予定しています。

五・六年生は、一学期にさくらの家との交流を三回行いました。相手に喜んでもらうためにどうしたらいいかを考えようという事で、ふくぎ茶づくりのお手伝いを体験したり、ゲームを通じた交流活動を行ったりしました。交流では、相手意識をもった活動や行動となっていたかを振り返り、次時の活動の計画へつなげていきました。最終の交流時に渡したお礼の寄せ書きとメッセージ動画を受け取ったさくらの家の方からの「嬉しくてまたみんなに会いたくなくなったから、また来てほしい」というお返事動画もいただき、二学期には、さくらの家からの招待も受け、サプライズ交流が実現しました。

現在は二月に予定されている子ども議会(五年生はミニ子ども議会)に向けた探究活動を行っています。



1月の行事予定

- 8日(金) 3学期始業式
- 12日(月) 身体視力測定
- 14日(木) 人権参観日・学級懇談会
- 15日(金) ノーメディアデー
- 19日(火) 4年町学力調査(算数)
- 21日(木) SC (PM3h)
- 22日(金) 1年生活科高齢者交流
- 26日(火) 5・6年餅つき
- 28日(木) 漢字検定
石川直宏選手来校(予定)
- 29日(金) 5・6年バーステッププロジェクト

※ 新型コロナウイルスの状況によっては変更

< 寄贈お礼 >

海士郵便局様より、子ども達へ年賀状をいただきました。ありがとうございました。